(陳受6第8号)

ボランティアごみ袋収集個数に関する陳情

受理年月日

令和6年8月26日

陳情者

山本 徹

陳情の要旨

市道84号線にはケヤキの木が23本あり、毎年10月初旬から12月下旬まで落ち葉の季節となります。毎日、朝と夕方に歩道、車道のL字溝からL字溝、約20メートルから25メートルの間にたまった落ち葉を掃き集めるとボランティアごみ袋7から10袋になることがあります。ecoブック3ページには「1度に出せる量は戸建て住宅は3袋、集合住宅は10袋まで」と記されていますが、一度の収集で3袋、10袋では玄関先、ごみ置場がボランティアごみ袋であふれてしまいます。過去には、火がついているたばこをボランティアごみ袋に投げ入れられ、出火してしまい、消防車が出動したことがあります。

昨年11月、上記の件を担当課へ連絡をさせていただき、毎週水曜日にたまったボランティアごみ袋を収集するという対応をしていただきましたが、収集する業者への負担、収集車の燃料代、二酸化炭素排出等のことを考えると、燃えるごみの日に収集したほうが効率的ではないかと考えます。

以上の趣旨より、下記について陳情いたします。

記

市内全域ではなく、落ち葉の量が多い場所、地域では10月上旬から12月下旬までの間、ボランティアごみ袋収集個数に関して臨機応変に対応していただくこと。